

# 火遊び・花火による火災に注意！

7月、8月と休みが多くなり、火を使用する機会も増える季節ですが、下記の内容をよく読んで火災を未然に防ぎましょう！

## 1 火遊びについて

火遊びによる火災の発火源は、ライターが半数以上を占めており、ライターの火遊びによる火災を防ぐには、周囲の大人の注意が欠かせません。

火遊び防止対策として

- ・ 子供の手の届かないところに置きましょう。
- ・ 子供に触らせず、火遊びの危険性を教えましょう。
- ・ 不要なライターは、きちんと捨てましょう。
- ・ 子供が簡単に操作できないチャイルドレジスタンス機能を施したライターが販売されています。



## 2 花火について

花火は、迷惑にならない場所と時間と後始末を考えましょう。

花火をするときは？

- ・ 子供だけで花火をしないで大人と一緒に花火をしましょう。
- ・ 花火をする前に、バケツと水を用意しましょう。
- ・ 花火は必ず燃えるもののない広い場所で遊びましょう。
- ・ 花火が終わったら、花火のごみは持ち帰りましょう。
- ・ 風の強い日は、花火はやめましょう。



吉川松伏消防組合消防本部予防課

TEL 048-982-3919

# 古い扇風機の取扱いについて

これから夏を迎えるにあたり扇風機を使用する機会が増える季節になります。それに伴い火災事故も**全国的に発生しており**、近年、扇風機を20年、30年と長年期間使用した古い扇風機から火災が発生することがあります。

代表的な事故原因としては、長期使用によるコンデンサーの絶縁劣化したため、ショートして発火したり、経年劣化によってモーター巻線部が絶縁劣化したため、スパークが生じて周囲ホコリ等に着火し、火災に至るものです。

製造から長期間経過した扇風機は、**経年劣化**によって火災等の事故につながる恐れがあります。

## 事故防止対策として

- (1) スイッチを入れてもファンが回らない。
- (2) ファンが回っても、回転が異常に遅かったり不規則である。
- (3) ファンが回転するとき異常な音や振動がする。
- (4) モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- (5) 電源コードが折れ曲がり破損したりしている。
- (6) 電源コードに触れると、ファンが回ったり、回らなかったりと不安定である。

上記の内容に**1つでも該当する場合**は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて適切に廃棄してください。

吉川松伏消防組合消防本部予防課

TEL 048-982-3919

